



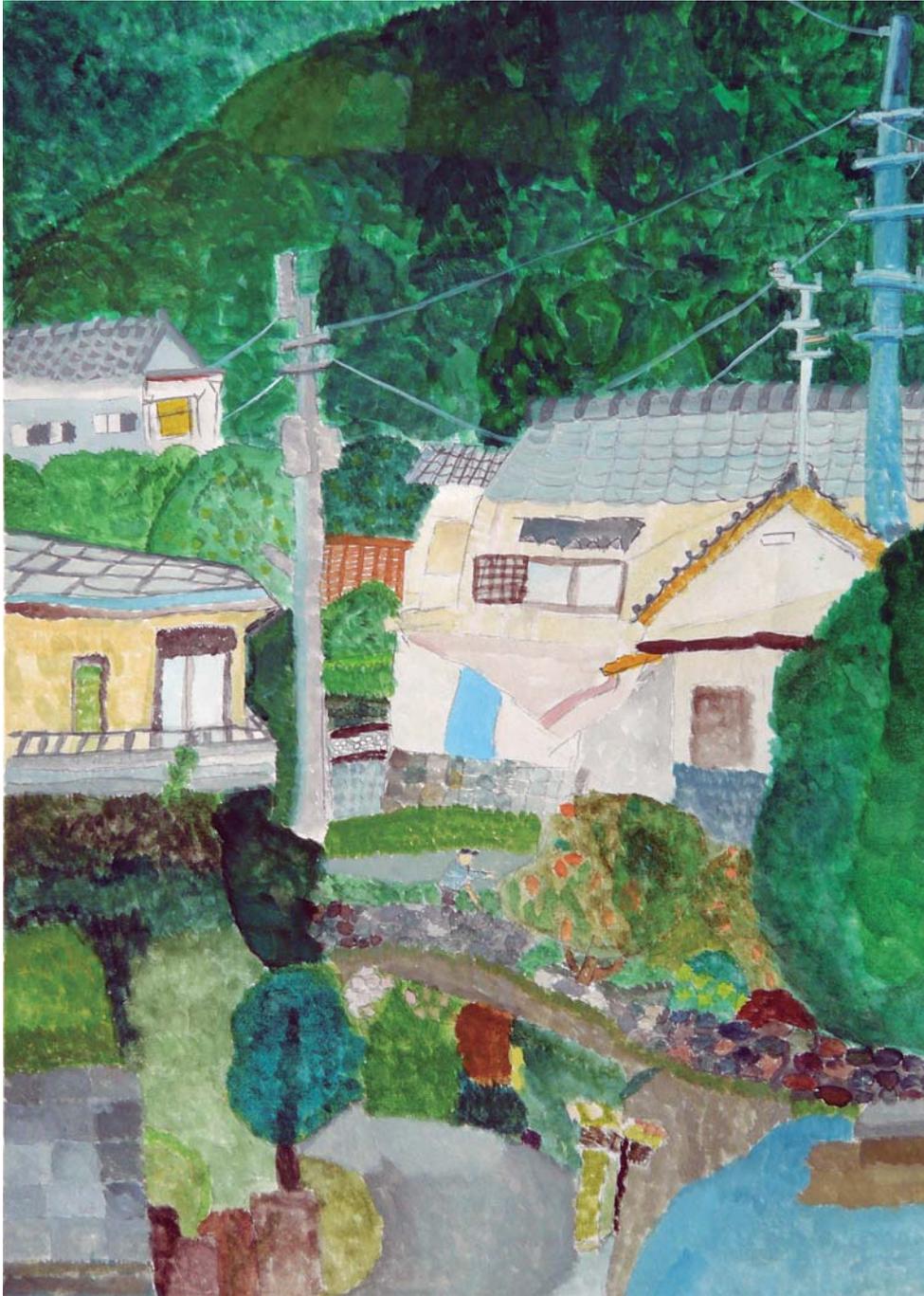
広報

うまじ

第252号



平成22年4月1日発行



第60回

子ども県展

推薦

馬路小5年 乾

日香里さん

審査員
作品評

木や家の重なりで奥行きのある風景が出来上がっています。
手前の畑や山々の木々の塊を表した緑の変化と温かさを
感じさせる灰色の変化によって、作者のやさしさが伝わってきます。

村の予算	2・3
おらが村の学校便り	4・5
体育館改修工事・文化祭他	6
むらの案内人クラブ・かっこよくなる男の道場	7
エコアス馬路村	8
赤ちゃん万歳・馬路村俳壇	9
Dr.内田の最後のひとりごと	10

目次

Hello!ナオミよ!	11
ごみ減量化を考える・リハビリテーションを 利用してみませんか	12・13
お知らせ	14
4・5月むらの行事予定	15
村のできごと・村内あちらこちら	16

平成22年度 一般会計当初予算 16億7千万円

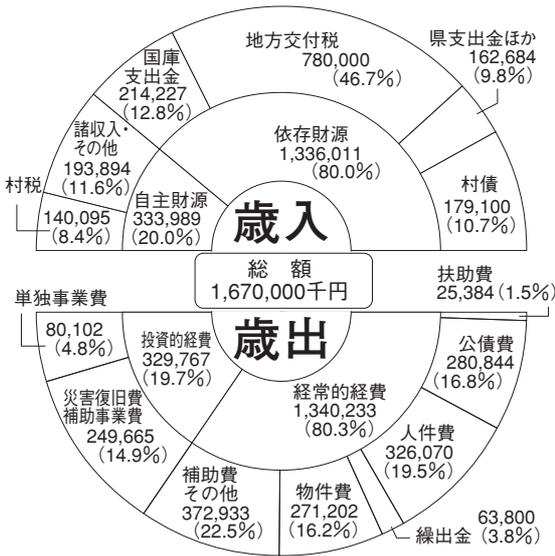
対前年度比9.73%減額予算

平成22年度当初予算は1,670,000千円で、前年度1,850,000千円との比較では180,000千円(比率9.73%)の減額となっています。



前年当初比

9.73%減



【用語の説明】

- 地方交付税** どこにいても同じ行政サービスが受けられるように、国税の一部から交付されるお金
- 国庫支出金、県支出金** 事業を行うための国や県から交付されるお金
- 村債** 長期間の村の借金。事業を行うために借り入れたお金
- 公債費** これまで借り入れてきた借金の返済にあてられるお金
- 扶助費** 障害者や高齢者への支援にあてられるお金
- 物件費** 消耗品、光熱水費、通信運搬費など
- 補助費** 中芸広域連合負担金、各種団体への補助金など

【歳入】

新政権の「コンクリートから人へ」「地域主権」等の基本理念による平成22年度予算編成方針における、地方の自主財源の充実・強化により、地方交付税の総額は前年度に比べて3兆6,316億円の増額となっています。このため、本村の地方交付税は20,000千円増の780,000千円、臨時財政対策債は14,162千円増額の100,000千円を予算計上しました。加えて、過疎債等財源的に有利な起債による事業の導入により、基金繰入金を対前年度で76,829千円減額する予算としました。

具体的な歳入の状況は、依存財源が1,336,011千円(構成比80.00%)、自主財源が333,989千円(同20.00%)となっています。対前年度で見ると、自主財源で76,062千円(18.55%)の減となっていますが、これは自主財源である基金繰入金を抑制したことによります。

【歳出】

性質別にみると、経常的経費は1,340,233千円で、前年度に比べ63,934千円(5.01%)の増額となっています。投資的経費は326,767千円で、対前年度243,934千円(42.52%)の減額となっています。また、目的別では、増額した主な費目は総務費及び農林水産業費であり、減額した主な費目は民生費、衛生費、商工費、土木費、消防費及び教育費となっています。増額のうち総務費では過疎対策費として分譲宅地整備事業による増、農林水産業費では、山村振興費における、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業による馬路村農業協同組合への柚子加工品施設整備補助による増が主なものとなっています。減額となっている費目では、民生費では相名会館建築事業の減、衛生費ではヘリポート整備事業及び医師住宅整備事業の減、商工費では馬路村コミュニティセンター改修事業の減、土木費では公営住宅整備事業の減、教育費では馬路体育館耐震化事業の減など、それぞれの事業完了によるものが要因としてあげられます。

総務課 《取り組み主な事業》

●安全・安心な暮らしの実現

懸案であったヘリポートの完成に伴い、連絡道路である林道奥栗一谷線の整備を進めることにより医療、防災面の機能充実を図ります。訓練等を通じて、行政機関や自主防災組織等の災害対応能力を向上させます。

また、蘇生法教育人体モデルやAEDを使用した応急手当講習を繰り返し行える体制を作り組織間の連携の円滑化を図っていきます。

●地域文化の向上

高速大容量通信(ブロードバンド)整備については、国の施策に基づき平成22年度の完成を目指します。

また、テレビの地上デジタル放送への対応については、現在ほとんど世帯で視聴可能ですが、一部の共聴施設のデジタル化未対応世帯への対策をこのブロードバンドで行い、平成23年7月のアナログ放送終了までには全世帯で視聴可能とします。

「日本で最も美しい村連合」に加盟している本村として、村民一人ひとりが村の景観や文化を守る意識の高揚を図るため、空き缶やゴミ拾いなど小さな運動から実践し、村民の全体運動につながるよう努力していきます。

●若者定住と交流人口拡大

若者の定住には職・住に加えて「いきがい」の充足が必要であり、将来を見据えた定住促進に結びつけ

ていけるような諸施策の展開について関係者とともに努力します。「住」の施策では、分譲宅地を実現できるような努力をしていきます。交流人口の拡大は、産業振興の重要な施策であり、一方で定住化を促していくための大きな要素でもあることから引き続き交流人口拡大・確保に努めます。

健康福祉課

子どもから高齢者まで地域のみなさまが安心して暮らせるよう、また健康で生きがいを持って生活できることを応援します。

●保健福祉業務

中芸5カ町村で取り組み始めた保健福祉業務の広域化も2年目となり、健診結果の事後指導や、障害者の暮らしやすい村づくり等に対して、ますます充実できるよう、連携して取り組んでいきます。

●健康づくり

生活習慣病に対する予防の必要性に対して、壮年期から関心を持ってもらえるよう、働き盛りの男性や事業所への健康教育を行います。

また、疾病の早期発見・早期治療に対して、特定健診やがん検診の受診率向上に努めます。

●介護予防

各会館で行っている「いきいき百歳体操」は村民自らが行っている健康づくりであり、地域の支え合いの場でもあります。老化等による体力の衰えや地域の中で見守りを必要とする人たちに對して、集える場としてつなげていきたいと思えます。

村内外の関係機関等と連携し、認知症や障害を負っても安心して暮らせる村づくりに努めます。

●安全施策の充実

75歳以上の高齢者世帯等を対象に、住宅用火災報知器の設置に対して助成を行い、防災対策を進めるとともに、防災意識を高めます。

産業建設課

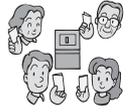
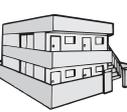
地域資源の有効活用による産業の振興、生活基盤の安定による地域の活性化に努めます。

●林業振興

林業の総合補助事業等を利用しながら、林道、作業道の

平成22年度村民一人当たりの一般会計予算額

1,427,350円/人…(16億7千万円/17年国勢調査人口1,170人)

消防費 42,227円 <small>中芸消防署(消防・救急)</small> 	農林水産費 387,820円 <small>農道、林道、村単小規模など</small> 	総務費 280,098円 <small>住民票、戸籍、選挙、統計、有線放送、交通安全など</small> 
教育費 113,327円 <small>小中学校、教育委員会、フルマラソン大会など</small> 	商工費 50,575円 <small>観光、商工会、納涼祭など</small> 	健康福祉費 356,848円 <small>保育所、健康診断、年金、ごみ処理など</small> 
災害復旧費 4,525円 <small>農地・道路災害など</small> 	土木費 103,450円 <small>村道、河川管理、公営住宅など</small> 	その他の経費 331,130円 <small>議会、借金返済など</small> 

平成22年度末 基金残高見込み	15億6千万円	平成22年度末 地方債残高見込み	20億4千万円
一人当たり貯金額	1,333,333円	一人当たり借金額	1,743,589円

●観光振興

「土佐・龍馬であい博」による、観光客の増加が見込まれることから、観光ボランティアガイド、観光協会等と連携をとりながら、馬路村のファン獲得に努めます。

●国土調査

櫛削、平野谷、有ヶ久保、城床東平、ワサビ谷、裏瀬、日ノ地谷、駒場谷等が調査区域です。

●農業振興

「ゆず産業」振興のために、朝日出山農地の造成、化粧品工場の機械整備、ゆず茶製造ラインの整備支援等を行います。また引き続き鹿の食害対策事業(駆除報償制度、ネット設置補助等)を行います。

教育委員会

全国学力・学習状況調査の

結果では、学力の定着状況に課題があり、基礎学力の定着・向上などのほか、体力の向上など教育課題への対応が求められています。

村では、「望ましい勤労観・職業観を持ち、たくましく未来を切り拓く馬路っ子」の育成を目指したキャリア教育や、小・中学校が連携した教育活動を推進するとともに、基本的な生活や学習習慣と基礎学力の定着で、少人数制のメリットを最大限に生かし、個々に応じた指導で「生きる力」の育成を学校や地域・家庭で取り組むこととしております。

その一環として本年度から県の補助を受けて取り組む教育版「地域アクションプラン」事業などにより、学校運営や授業改善を図り、学校は家庭や地域との理解を深めるとともに、連携した取り組みによる教育の振興を行います。

生涯学習面でもアクションプラン事業により本年度に4部落の会館が改築されることにもあわせ、地域からの学習要望に応えられるよう職員が積極的に向き、地域の方々とともに生涯学習活動を推進することとしています。



おらが村の学校便り④

3学期の学校行事のひとつから

馬路小学校・中学校では保護者と共に楽しんだ「一日先生」の様子、
魚梁瀬小学校・中学校では、初めて中学生が参加した「杉の子発表会」の様子をお伝えします。

馬路小学校・中学校 一日先生

2月7日(日)、小学校で毎年恒例の「一日先生」を行いました。保護者の方の参加が多く、盛大に行うことができました。

【マジックに挑戦】

1・2年生親子は保護者の木下さんによるマジックショーを見た後、3グループに分かれ、親子で「3枚のおふだ」「魔法の割り箸」など4点のマジックの仕かけを作りました。渡された材料を折ったり、切ったり、テープで張るなど苦労しながら親子で協力し合い作りました。最後は一人ひとりがマジックを披露し、驚いたり、笑わせたりして楽しいひと時を過ごしました。

【親子で楽しむ演奏会】

3・4年生親子は講師に馬路中学校の山本先生を招いて楽器演奏を教えていただきました。最初にバイオリンとピアノのきれいな演奏を聴いた後、先生から見たことのない打楽器をたくさん紹介してもらい、その楽器を使って親子で「崖の上のポニョ」を合奏しました。最後は、新曲「テキーラ」を合奏し、音楽のすばらしさや楽しさを味わうことができました。



▲親子で演奏♪

【お米の収穫祭】

5・6年生はこの1年「お米づくり」をテーマに田植えから収穫作業の体験活動や調べ学習を通して学んだことをグループでまとめ、発表しました。午後から、餅つきを経験がほとんどない児童たちは馬路青年団の協力できき方を教わり、杵の重さに振り回されながら、臼の周りを叩いたりして、何とかいちご大福餅やあんこ餅などたくさん作りました。



▲けっこう重たいな!

【低温の科学を楽しむ】

1月23日(土)に馬路中学校では、高知高専物質工学科の秦先生と7人の学生さんをお招きして、一日先生を行いました。

この日の授業の内容は、主に液体窒素を使った実験でしたが、液体窒素の温度は、なんとマイナス196℃。液体窒素を入れた容器に切り花や、野菜、風船、ゴムボールなどを入れると、一瞬の内に凍り付きます。花や野菜はつかむとバラバラに砕け、バナナ等は、堅くなって釘が打てるほどになるのです。このような状態は自然の気温変化では、まず見ることができません。



▲グループで実験中

実験は7つのグループに分かれて行われましたが、高専の学生さんが一人ずつ補助に入り実験の手順など、分かりやすく説明してくださいました。

自分たちと年の近い、お兄さんやお姉さんと交流を深めながら実験は終始、和やかな雰囲気の中で行われ、凍った物を取り出す時は、どのグループからも「おおーっ」と歓声が起こりました。また、それを壊す作業も盛り上がりました。



▲液体窒素ってすごい

生徒と一緒に実験に参加していた保護者の方たちも、生徒以上に目を輝かせており、親子で存分に低温の科学を楽しみました。
この学習をきっかけに科学に興味を持つ生徒が増えたのではないのでしょうか。大変楽しい一日先生でした。

魚梁瀬小学校・中学校 杉の子発表会

2月21日(日)、学習の成果を披露する「杉の子発表会」が行われました。

魚梁瀬小学校の3学期恒例行事だったこの発表会ですが、小・中一貫教育がスタートしたこともあり、今年度は中学生も新たに参加し、開催日も日曜日に変更して、例年より多くの保護者・地域の方に来ていただきました。

2年生

国語の教科書に出てきた「かさじぞう」を劇にして披露しました。男子2人だけとは言え、なかなかの演技派である2年生は存在感たっぷり。心やさしいおじいさんとおばあさんになりきった情感あふれるセリフの言い回しで会場をわかせました。また、お地藏さん役で先生も出演し、一緒に劇を盛り上げました。2年生の一生懸命な演技に、体育館の小さな舞台が、いろいろのある部屋や雪野原のように感じられました。

教科書のお話を演じ、体で表現することで、授業で学んだことをさらに深めることができました。



▲おじいさん、おばあさん役を演じた2人

3・4年生

一年間を通して朝の会での音読に取り組んできました。中でも発表したいという声があがったのが「平家物語」でした。そのほか、「徒然草」や「風の又三郎」など、難しい言い回しの文もすらすらと読めていて、自信を持って声を出しているのが分かりました。

さらに、「坊ちゃん」の冒頭部分をもとに考えた寸劇では、「二階の窓から飛び降りて…」のくだりで手作りの窓から実際に飛び降りて、見る人をどきどきさせました。

最後には、マイケル・ジャクソンの曲に合わせて全員でダンスを披露。3・4年生らしく、元気な発表を見せてくれました。



▲声をそろえて音読発表

5・6年生

かつて魚梁瀬の天然杉を運んでいた森林鉄道。総合的な学習の時間にその歴史や当時のくらし、人々の思いについて学習してきました。鉄道跡の見学をもとに、みんなでの詩をつくり、写真を見せながら会話や振り付けなど、演技をつけて説明していました。「大きく手を動かしてポーズを決めよう」「もっと明るい声で」お互いに演技を指導し合いました。練習の成果を出そうとした姿に観客もうなずきながら見入っていました。

また、音楽にのせて一人ひとりがつくった詩を音読し声を響かせたり、リコーダー奏でゆったりとハーモニーを聴かせてくれたりもしました。



▲堂々とした森林鉄道の発表

小学校合唱・合奏

小学生全員の合唱は「世界中の子どもたちが」。子どもたちが大好きな歌です。学年に分かれて歌うところがあり、それぞれの個性が際立って、全部が重なったとき元気な声が体育館に広がりました。合奏曲はディズニーの「星に願いを」です。休み時間や家でも何度も練習を重ねてきました。拍子をとろえようと、一生懸命指揮を見ながら演奏する子、体でリズムを感じている子。かわいらしい姿とメロディーに皆が拍手を送りました。



▲気持ちを一つにして演奏♪

中学生

音楽の授業で練習してきた「カントリーロード」の合奏と、「歓喜の歌」「翼をください」の合唱を披露しました。中学生全員で9人と少なく、合奏、合唱には厳しい条件ですが、中央のドラムをはじめ、ピアノ、木琴、リコーダーなど生徒の特性を生かした楽器のパート分けと、息のあった演奏に会場は落ち着いた雰囲気にも包まれ、ちょっとしたコンサート気分でした。



▲落ち着いた演奏を聴かせました

児童・生徒の声

- 緊張しました。こしをまげておじいさんになるくふうをしましたよ。
- お客さんが真けんに見ていてくれたから、うれしくて、大きな声を出しました。
- いつもどおりにできて安心しました。小学生の発表がとてもおもしろかったです。

馬路体育館改修工事完成!

耐震化で安心・安全な施設へ

馬路体育館は、昭和45年に建築され約40年が経過しており、これまで屋根等の改修工事を行ってきました。しかし、施設の耐震診断を受けた結果、耐震性に問題があったため、耐震補強工事を実施しました。また、施設自体も老朽化しているため、合わせて大規模改修工事を行いました。

【改修工事の概要】

●玄関や内壁、手すりに馬路村産の木材を使用し、木の温もりを感じられる施設になりました。

●玄関をバリアフリー化し、障害者や高齢者が利用しやすい施設になりました。

●全ての窓をアルミサッシに改修し、天井の結露対策も行い、明るく快適な施設となりました。



【施設の外観】



【施設の内部】

開催

第37回馬路村文化祭 第29回馬路村内芸能発表会

文化祭と芸能発表会が2月20日に、改修されたすぐの馬路体育館で開かれました。

初日に行われた芸能発表会では、一度に1000人を超す多くの方々が来場し、一時は用意した椅子もスリッパも足りない状況になりました。しかし、二日目は作品の展示のみとなり会場は前日と打って変わり静かなうちに終了しました。

今年度の開催は、通常に戻れば12月の第2土曜日となります。村民の皆様様の作品の製作や出品・芸能発表にご協力をお願いします。

(文化祭実行委員会)



芸能発表会（ギター教室）



会場の様子

▲お茶席コーナーで一服

グラウンド整備事業

平成21年度から22年度にかけて国の補助金により村民運動場等の整備を行っています。

老朽化により破損していた防球ネットの改修、照明整備、硬くなった運動場の土をほぐし整備できるスポーツトラクタの購入と、村民の皆さんが安全にまた、安心して利用できるように整備を行っています。

今まで以上に村民運動場が交流の場となることを期待しています。

▶防球ネット・照明



▲バッティングケージ



▲スポーツトラクタ

『むらの案内人クラブ』発足
ガイド養成講座全6回の修了生

昨年の5月に第1回目の講座を開き、このほど「龍馬伝を極める」のテーマで最終第6回をしめくくった馬路村ボランティアガイド養成講座の修了生12人により「むらの案内人クラブ」が発足しました。

観光客等の案内 4月スタート

このクラブは馬路村を訪れる観光客などに、おもてなしの心をそえた案内をすることによって、村の本当の良さに気づいてもらうことを目的として



▲ ガイド養成講座受講中

ています。そのことで村への良き理解者・共感者になつてもらえればと願っています。

会員構成は役場職員3人、ふるさとセンター職員3人、県職員1人、その他一般村民5人で、会長を栢山逸男さん(76)、副会長を清岡博之さん(56)としています。クラブは会員それぞれが自分のできる範囲において本村のPR活動に努めていくことにしてい

ます。

今年はおかたつてない龍馬ブームに加え、この地域では旧森林鉄道施設が重要文化財に指定されるなど本村にとつても新たな入り込み客の増とリピーターの定着をはかる千載一遇のチャンスです。

平成22年度もまもなく第2期生の養成講座を開講します。そのときにはぜひ多くの方にご参加いただきたいと思ひます。

なお、21年度の講座テーマはつぎのとおりです。

- 講座
- 1 ふるさとの山に親しむ『春編・西又山を歩く』
- 2 旧魚梁瀬森林鉄道施設を知ろう
- 3 安田町から馬路村にかけての旧所名跡を知ろう
- 4 JA馬路村、エコアス馬路村の産業視察
- 5 村の歴史と生活文化を学ぶ・金林寺と熊野神社
- 6 魚梁瀬東川の魅力を探る
- 課外講座
- 1 魚梁瀬千本山の樹木を知ろう・100種
- 2 ふるさとの山に親しむ『秋編・甚吉森を歩く』

「かっこよくなる男の道場」参加者募集

～めざす理想のからだづくりに挑戦しませんか～

村では馬路村診療所医師を中心に、平成22年度「かっこよくなる男の道場」を開催します。現在その参加者を募集しています。

対象者：①生活習慣病（メタボリックシンドローム）を解消、または予防したい
②自らの健康づくりに役立てたい など、おおむね60歳までの男性

内容：運動、医療、食生活習慣の改善等に関する教室

実施回数：毎月1回（年10回）

参加費：年間1,000円

締め切り：4月末日

2年間参加した人の中には、万歩計を励みに、日々の生活にウォーキングを取り入れたり、油料理を控えることによって、大幅な減量を達成された人がいます。肥満がよくない、というのではなく、見た目はやせていても、脂肪が体のどの部分についているかが重要です。

この教室では、さまざまな専門分野の方のお話が聞けたり、実践できます。健康意識を高め、住み慣れた村で、健康で生き生きと生活を送れるよう、ぜひご参加ください。

◎お問い合わせ：役場健康福祉課 TEL 44 - 2112



▲ ヨガ体験をする参加者

メゾン・エ・オブジェ

エコアス馬路村

in Paris

海外出展4度目の挑戦!

昨年まではブリティッシュヨーロッパデザインナーズ協会が出展しているエリアの一部として出展していたため、デザイン商品であるモナッカ以外の展示については規制が入る部分もありましたが、今回は規制もなく、エコアス馬路村の商品を展示し、新規ショッパの獲得をめざしました。また、昨年出展した際には、モナッカのバッグ新作3種が試作品であり、販売することができませんでしたが、今回は正式な新製品として展示商談を行いました。

海外出展が4年目となる本年は、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）の支援のもと、ジャパンブースという名目での出展を行いました。また、ジェトロは、パリにも事務所があり、ジェトロパリの事前調査により、ピックアップされたショッパヘジェトロパリのスタッフが同行して営業を行い、商談も行ってきました。

『フランス国際見本市』平成21年度に高知県の産業振興計画推進総合支援事業の事業採択と村の支援により、フランスで開催されたメゾン・エ・オブジェという世界最大規模の展示会に出展してきました。これまでも、中小企業庁のジャパンブランド事業、経済産業省の地域資源販路拡大等支援事業の採択を受けて、モナッカを中心にドイツ・フランクフルト、フランス・パリへの出展を行ってきました。

■ 展示会の概要 ■

出展名：メゾン・エ・オブジェ

場所：フランス・パリ

期間：2010年1月22日～1月26日

主催者：SAFI

出展ブランド数：約3,000社

来場者数：85,582人

世界最高峰のインテリア関連の見本市であると同時に、トレンドの発信源として名高いパリのメゾン・エ・オブジェは1月と9月の年2回開催されます。

見本市会場である7つのホール内は「カルティエ」と呼ばれる分野ごとで構成され、専門バイヤーのほか、インテリアデザイナー、デザイナー、プレスクリプトゥールと呼ばれるインテリアを決定する専門家による商談が活発に繰り広げられます。



▲パリ市内での営業

●—— エコアス馬路村ブース ——● 展示会の様子



▲展示会状況



▲ジェトロパリと打ち合わせ

【展示会の結果及び成果】

世界的な不況・円高での反響

展示会は5日間の開催中に約30カ国、約160社のショッパ、プレス等と商談及び商品説明を行いました。商品への反響はモナッカだけではなく、うちわや壁面装飾材も含めて反響は大きいものがあり、弊社ブースへの来場は多い方ではなかったかと思えます。しかしながら世界的な不況は解消していない現状と、会期直前で1ユーロあたり10円の円高というような不安定な状況から、各社ともに契約には慎重になっている感がありました。

最終的に開催中の契約まで至ったものが2社、日本に帰国後、現在までに交渉中のショッパが約10社という状況になっています。

新たな業種へのアプローチ

今回の展示会では、これまで実績のあるショッパ以外の新規商談者が増えたこと。また、壁面装飾材を展示商談したことで、内装業や建築士、飲食店のデザイナー等とされている方等、新たな業種へのアプローチとなったことです。このようにモナッカだけではなく、うちわや壁面装飾材等が新しい分野での木の提案となり、ビジネスチャンスを作り出すことができました。これは、大きな成果でした。こういった機会を逃さず、今後の馬路村木製品の需要拡大につなげていきたいと考えています。



赤ちゃん万歳

パパ・ママといっしょ

こんにちは！

毎日いっっぱいお乳を飲んでぶくぶく元気に育っている田中柚奈です。

だっこが大好きで、ママが忙しくてだっこしてくれない時は、大きな声でなっているの。そんな時はお兄ちゃんが話してくれたり、だっこしようとしてくれるんだけど、だっこはまだムリみたい…。



でもそんな優しいお兄ちゃんが、柚奈はだいですきだよ。

お散歩にもいっぱい行きたいな。私を見かけたら、皆さん話しかけてくださいね。



田中 ^{ゆな} 柚奈さん(東川)
平成21年11月24日生
(保護者 田中 涼さん・沙奈恵さん)

馬路村俳壇

啓蟄の土掘り返すものは何

山椿かずら葎しぐらの中にな

雛あられ残り一粒じゃんけんぽん

春障子ゆびで突きたる穴二つ

鳥かえる病廊にくる花嫁さん

空っぽの鶏小屋ほとり落の臺とう

花の市ハウス育ちの猫柳

元気だよまだ雪降ると能登の孫

立川の風痛かりき春さむし

残業の二日つづきや土筆つぐきの子

たのまれし買物いくつ遅日光ちじつこう

人待ちの本屋のじかん花の雨

風に乗り窓から入るしゃぼん玉

ガラス戸に指で絵をかく花の雨

おぼろ夜の星のにじみや離れ住む

咲きそめし花に逝きたる人ひとり

津軽かな雪のねぶたに迎へらる

湯疲れの灯の中に雪の山

雨晴れて春田をすべりゆく鉄路

絶え間なき波音春の干し布団

山崎喜久子

高芝 栄子

中屋 良子

山本 美幸

小松 健児

西山 徳裕

中村 朔

氏原 淑

池 蘭子

東谷 晴男



～Dr.内田の最後のひとりにと～

「医者が代わるということ」

馬路に来てあつという間の、しかしいろんな経験をした3年間でした。安田川で鮎におどらされ、コーラス、マジック、少年野球にもはまり、そのほかいろいろ…、話しだせばきりがありません。内田家のみんな、馬路で育てられました。思い出せば三男の礼も2歳になったばかりで、言葉もほとんど話せなかったのが、いまでは言い訳はするわ、大人を注意するわ、ほげるわ、たのもしく成長しました。

皆様からは、「慣れたと思った頃に代わって…」とよく言われます。そのとおりなのですが、私が医者になって一番長



く勤めたのも馬路村なのです。これまで高知市・本山町・沖ノ島・大月町・梶原町・大阪とあちこちで勤務してきましたが、いずれも1～2年でした。そんな意味でも、私にとって馬路は最も思い入れの深い場所です。

馬路村は、県内の10市町村で構成される「高知県へき地医療協議会」に所属しています。この協議会が設立された目的のひとつに、自治医大卒業医師がへき地医療に従事する際、どこで働いてもほぼ同じ条件で勤務ができるように、「市町村間での勤務条件の格差をなくす」ということがありました。（現在では自治医大のみならず、高知大学医学部卒業の医師も加わってくれています）また、この協議会は高知県独自のもので、厚労省や他県の行政担当者からも大変注目を集めているシステムです。その中で医師の人事異動は避けられない問題なのですが、馬路村がこの協議会に所属している限りは、たとえ医師が異動したとしても、新たな医師が村に継続的に派遣されてくるシステムになっているのです。つまり、現状では馬路村が無医村になることはありません。

また、この協議会のシステムで動いている医師は皆顔見知りで、先輩後輩の仲だったり、以前同じ医療機関で勤務したことがあるということも多々あります。また、関係する各医療機関が画像伝送システム（テレビ会議）でつながっています。ですから、異動になった後でも、医師同士で地元住民の抱える健康問題や病気の診断、治療方針などについての連絡を取り合うこともしょっちゅうあるのです。

さらに医学は日進月歩しています。5年前に正しいと言われていたことが実は全く違っていたということもよくあります。例えば「傷はまず消毒する」という考えかたは変わりつつあり、イソジンなどでの「消毒」ではなく、水で「洗い流す」（むしろ消毒はよくない）という考え方になってきました。また、以前はこの病気には使ってはいけないと言われていた薬が、現在では使うべき薬に変わっていたりします。医学の進歩は早く、医師もそれについていけないといけません。一人の医師が同じ医療機関に長く勤めるメリットもありますが、異動で新しい知識や技術を持った医師が赴任してくることによって、また別の視点で医療を提供してもらえると、いうメリットもあります。



おまけですが、

「馬路村の皆さんにとって顔見知りでよく知っている医師が、県内のあちこちの医療機関で勤務している」ということも見方を変えれば「いいこと？」なのかもしれません。どうかこれからも、この協議会から派遣されてくる医師のことを優しく見守ってあげてください。

なんだか本当につぶやきになってしまいました。

新しく赴任される宮崎先生一家もどうぞよろしくお祈りします。馬路村がいつまでも元気のある村でありますよう、雲の上の梶原から応援しています。ありがとうございました。



外国語指導助手 ナオミ・クロスビー・イワサキ
(アイルランド ダブリン出身)

“聖パトリックデー”

3月17日は、アイルランドの人々にとって特別な日で、“聖パトリックデー”と呼ばれています。アイルランドの守護聖人である聖パトリックは、387年頃に生まれ492年3月17日に亡くなったと言われています。ということは、なんと彼は105歳まで長生きをしたということですね！今日でも、アイルランドの人々は毎年、彼の命日を“聖パトリックデー”としてお祝いしています。

スコットランドは聖アンドリュー、イングランドは聖ジョージというようにそれぞれの国には守護聖人がいます。聖パトリックは初めてアイルランドにキリスト教を広めた人々のひとりですが、実際、彼は英国のウェールズ出身です。そして、アイルランドからすべての蛇を追い払ったと言われています。だから、アイルランドには現在でも、蛇はいないのだとか…。



▲“聖パトリックデー”パレード(首都ダブリン)

聖パトリックのシンボルはシャムロック（三つ葉♣）で、アメリカではクローバーと呼ばれています。

聖パトリックはアイルランド人にキリスト教を広めるのに、シャムロックを使用しましたが、現在でも三つ葉は幸運の象徴としてい

ろいろの所で使われておりアイルランドの航空会社「エア・リングス」のシンボルマークとして、尾翼章にも使用されています。また、アイルランドのシンボルはハーブと蹄鉄もあります。ハーブは古代アイルランドの民族楽器で、昔話によく登場し、アイルランドのユーロコインの裏側にも描かれています。蹄鉄は幸運の印（蹄鉄を思い描いてください…フタが開いた器の中に、幸運がたくさん入るように）ですから、開いている方を上にして、家のドアによく飾られています。



◀シャムロックを顔に描いている

▼エア・リングス航空機



聖パトリックのシンボル



“聖パトリックデー”は、宗教的なお祭りとして始まりましたが、その後、アイルランド人であることをお祝いするものに変ってきました。“聖パトリックデー”のパレードはニューヨーク、ドバイ、東京など世界中で行われており、皆、体の一部に緑色の何かをつけます。なんとアメリカのシカゴ川は“聖パトリックデー”を記念して、川が緑色に染められるのです！もちろん、アイルランドでもたくさんのパレードが行われているし、ダブリンにあるシティーセンターでは“聖パトリックデー”のお祭りが開かれます。そこでは、野外劇場、コンサートやダンスショー、花火や遊園地のような催し物が6日間続きます。

皆は、シャムロックを身につけたり、緑色のドレスを着て、とても楽しい時間を過ごします。また、屋外でケイリー（アイルランドのダンス）を踊りますが、もし、雨が降ったとしても雨に濡れながらダンスを踊ります！雨が降っても行事の変更ができません。だって、アイルランドでは毎日のように雨が降るのですから！でも、草が雨に濡れて色鮮やかな緑色になるからこそ、まさにアイルランドは「みどり」なのです！

ごみの減量化 を考える



ため、村内81カ所のごみステーションに出された一般ごみは、安芸広域メルトセンターで溶融処理されます。

減量するためには(表2)

ごみの分別を徹底し、焼却するごみの中から資源ごみ(リサイクル品)をなくすことです。今よりほんの少しの手間を加えるだけで、限りある資源を有効活用し、環境に優しい村へとつながります。

私たちの生活からは、毎日たくさんのごみが出ています。ごみの発生を抑制し、リサイクルを推進していくため、今、私たち一人ひとりが「ごみの減量」について何をすべきか考え実行しなければなりません。

今後の馬路村の環境のためにも家庭で適正に分別を行う必要があります。

現状を考える(表1)

家庭から出る可燃ごみを村では、平成18年度から有料の指定袋で収集を始めました。ごみの量は左ページ表1のとおりです。

村にはごみ処理施設がない

3R活動

Reduce

発生抑制(ごみも資源ももたら減らす)
・ 包み紙などの容器包装はできるだけ少なくしよう。
・ 壊れにくく、長く使える製品を買おう。

Reuse

再使用(くりかえし使う)
・ リターナブル容器(牛乳びんのようにお店で回収し、洗って再び使えるようにする容器)のものを買おう。
・ いらなくなったものはほしい人にゆずったり、リサイクルショップに売ろう。

Recycle

再生利用(資源として再び利用する)
・ 資源を分別し、リサイクルしやすくしよう。
・ 再生紙ノートなど、リサイクルされた製品を買おう。

3つのポイント

- ①ごみも資源も元から減らす(Reduce)
 - ②くりかえし使う(Reuse)
 - ③資源として再び利用する(Recycle)
- という「3R」活動をひろげていきましょう。

利用してみませんか

リハビリテーションによる治療が必要となる主な症状は、腰・膝・肩関節の痛み、腕が上がらない、手や足の先がしびれるなどです。診療所では、患者さんの症状に応じて、ホットパック、マイクロウエーブ、低周波、牽引の3種類を組み合わせ治療にあたっています。



◀リハビリテーションで治療中

ホットパック

保温力と吸水性の良い材料を包んだパックによって患部を温める湿式温熱療法です。

マイクロウエーブ

マイクロ波を用いて体の深部まで温熱効果を与え、血行を増大させ、新陳代謝を促進させる働きがあります。

低周波

低周波を利用した治療法で、刺激が深く、心地よく伝わるのが特徴。面積の広い腰や膝、肩の痛みの治療に適しています。

牽引

昨年12月に購入した最新の装置を使って、首や腰をゆっくりと伸ばしていきます。



▲ごみの収集状況

【表1 ごみ収集人口及びごみ総排出実績】

年度	総人口 (人)	ごみ総排出量 生活系ごみ (t)
平成18	1,127	237
平成19	1,114	240
平成20	1,077	234

(各地区のステーションでごみを収集し、安芸広域メルトセンターへ運搬している)

【表2 資源ごみ(リサイクル品)】

年度	資源化量 (t)	資源ごみ(リサイクル品)					
		紙類 (t)	金属類 (t)	ガラス類 (t)	ペット ボトル (t)	プラスチック (t)	布類 (t)
平成18	69	41	11	10	1	2	4
平成19	88	50	21	12	1	1	3
平成20	96	50	30	12	1	0	3



▲安芸広域メルトセンター

診療所 リハビリテーションを



▲リハビリテーション室



馬路診療所のリハビリテーションを、振動病の患者さんだけでなく、住民の皆さんも利用できることをご存知でしょうか。

この一年間に、リハビリテーション(振動病治療を除く)を利用した方は21人で、中学生から仕事を持つ中高年層、高齢者まで幅広い年代にわたっています。

痛みはがまんしないで

実際に、肩が痛くてほとんど腕を動かせなかった方が、数ヶ月間のリハビリテーションにより、少しずつ動かせるようになった例があります。

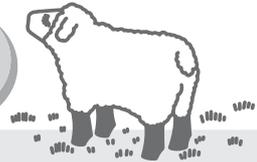
最近では、重労働をしていない方でも、頭痛や肩こりがひどくなり、手の先がしびれるといった症状が見られます。

つらい痛みはがまんせずに、医師に相談しましょう。

なお、診療所のリハビリテーションを利用するには、紹介状が必要です。まずは整形外科の専門医に診察してもらうことをおすすめします。



お知らせ



4月から重症の肝臓機能障害が 身体障害者手帳の 対象になります

心臓や腎臓などの内臓の機能に障害がある身体障害の内部障害に、新たに肝臓機能障害が追加されました。日常生活活動の著しい制限がある人や、肝臓移植後に抗免疫療法を受けている人が対象です。

また、自立支援医療（更生医療・育成医療）の対象として、肝臓移植術および移植後の抗免疫療法にかかる医療費の一部を公費で助成します。（収入や課税状況等により適用されない場合もあります）

◎詳しいお問い合わせや、申請先は
役場健康福祉課 TEL 44-2112

献血のお願い

5月19日(水)
移動献血バスがきます。

時間	場所
9:45~10:30	魚梁瀬多目的施設
12:30~14:00	馬路村農協ゆずの森
14:30~15:30	馬路村就業改善センター

交通事故や病気などの緊急時に“命を救う治療”として欠かせない輸血ですが、高知県では輸血用血液が不足しています。

献血はみなさん一人ひとりのボランティア精神によって支えられています。

※ 尊い命が守られますよう、みなさまのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

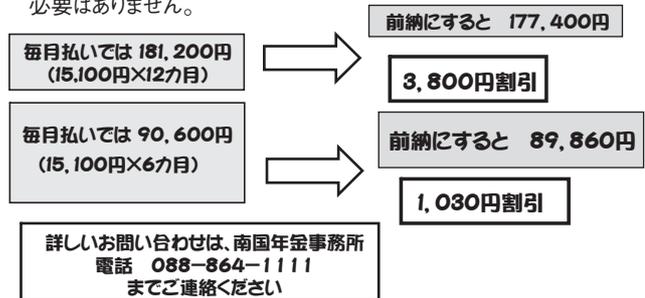
国民年金保険料の納付は前納がお得です

○4月からの国民年金保険料は定額で、月額15,100円です。一定期間分の保険料をまとめて納付する「前納制度」を利用すると、保険料が割引となりお得です。前納での納付を希望される場合は、日本年金機構高知事務センターから4月初旬に送付される前納用納付書で、4月末までに納付をお願いします。

1年度分または6カ月分の口座振替による前納は「もつとお得です」

○口座振替前納の場合は①1年度分及び上期6カ月分(4月～9月分)は2月末までに、また、②下期6カ月分(10月分～翌年3月分)は8月末までに高知事務センターまたは年金事務所にお申し込みください。

- ・口座振替が開始されるまで、お申し込み後2カ月程度かかります。
- ・すでに口座振替で前納されている方は、毎年お申し込みしていただく必要はありません。



野焼き 火入れ等について

廃棄物の野焼きは原則として法律で禁止されています。ただし、次にあげる理由があれば個人で焼却することができます。

- ① 震災・風水害・火災その他の災害の復旧、予防のための焼却。
- ② 風俗慣習上又は、宗教上の行事を行うための焼却。
- ③ 農業・林業・漁業を営むための焼却。
- ④ たき火、その他の日常生活を営む上で通常行われている焼却で軽微なもの(馬路村で「こつも焼き」とも言う。)

注 森林法に規定する「火入れ」につきましては、村への届出及び許可が必要となりますので、ご注意ください。「野焼き」、「火入れ」について疑問な点は役場健康福祉課または、産業建設課までお問い合わせください。

※野焼きとは、初春に枯草に火を入れ害虫駆除、新芽の促進を図ること。

連載休止について

昭和59年第105号から広報うまじで連載の「馬路村の歴史と伝説」は、去る2月11日にご逝去されました山中巖氏により執筆されておりました。

村に残っている貴重な文化遺産を紹介するともに、後世に引き継いでいく大切さを教えていただきました。生前のお話では、「まだまだ皆さんに見てほしいものがある」とお伺いしておりましたが、第251号をもちまして、一旦休止とさせていただきます。

長い間ご愛読いただきありがとうございました。

山中巖氏のご冥福をお祈りいたします。



4月・5月 むらの行事予定

4 月	
1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金

5 月	
1	土
2	日
3	月
4	火
5	水
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木
21	金
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水
27	木
28	金
29	土
30	日
31	月

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
2 月				0	1	1		2	1,052
3 月	2	2		4	1	15		16	1,040

馬 路 820人、357世帯
 魚梁瀬 220人、110世帯
 馬路村特別村民 4,383人
 (3月31日現在)



村内あちらこちら



2月20日 文化祭



3月3日 100歳体操(魚梁瀬)



3月15日 マジックショー



3月23日 馬路診療所医師住宅落成



3月25日 魚梁瀬保育所落成

村のできごと

2月

- 6日 魚梁瀬育成会冬のキャンプ
- 7日 馬路小学校一日先生
- 12日 村内5・6年生スキー教室(久万スキーランド)
- 20日 第37回馬路村文化祭・第29回芸能発表会
(~21日)
- 21日 中芸地区子ども駅伝競走大会(田野町)
杉の子発表会
- 23日 家庭教育支援講座(講師:増岡弘)
- 25日 ドンスカドンドン発表会(魚梁瀬保育所)
- 26日 子育て講演会(講師:澤田由紀子医師)

3月

- 1日 公立高校卒業式
- 11日 魚梁瀬貯水池湖面パトロール
- 13日 馬路中学校卒業式
- 14日 魚梁瀬小学校・中学校卒業式
- 15日 ドクター内田のあやしい診察室
(マジックショー)
- 20日 馬路小学校卒業式
- 23日 馬路診療所医師住宅落成
- 25日 魚梁瀬保育所卒園式・落成式
- 26日 馬路村農業協同組合総会
- 29日 馬路村森林組合総会
- 31日 庄屋祭・鬼門堂祭・村表彰

編集後記

馬路村を風のように駆け抜けていった診療所の内田先生。D・内田のひとりごとの最後にある「つばやき」がいつも楽しみでした。

3年間という短い時間ではありましたが、大変お世話になりました。4月から元氣印そのものだった先生がいなくなるのは寂しいですが、新赴任地でのご活躍をお祈りしています。

(Y)

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010
E-mail umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 株式会社 高知新聞総合印刷